

10月23日(日曜日)小名浜カントリークラブにおいて、第2回勿工建築科OB会親睦ゴルフコンペが開催されました。この日はいわき市全員が参加する、市民総ぐるみ運動と称して、町の清掃などが行われた日でした。朝早くこの運動に参加してからこの会場へ駆け付けた人、また総ぐるみ運動のために、コンペに参加できなかった人などいきましたが、総勢45名という大人数の参加者を会場に導きました。午前9時天気は晴れ渡り、風もなく穏やかなコンディションに恵まれました。9時15分からレストラン前のパター練習場の前に参加者が集合し、実行委員である18回生の鈴木忍さんが挨拶をし、競技方法、アトラクションなどを説明しました。私はOB会代表役として挨拶をしました。開会式が終了するとそのまま全員に集合していただき集合写真を撮りました。9時半が最初のグループのスタート時間でそれを待ちながらコンペがスタートしました。前回は平成26年に行いましたが39名の参加でしたので、今回は6名増えたこととなります。2回行って1回だけの参加者が42名、2回参加が21名、63名のOB会会員が参加したこととなります。2回の統計上、勤め先として目立つのがクレハ錦建設の12名でした。回生ごとで見ると18回生が11名、10回生が7名、7、11回生が6名と続きます。ゴルフの好きな人たちは、呼びかけに直ぐに応じてくれるようです。参加履歴、グループ割り付け、成績表を掲載しましたので参考にしてください。前回は今回も18回生が参加者を呼びかけ、まとめたようです。そして18回生の渡辺法広さんが寄付を募り、2万2千を集金し、「建築科OB会ゴルフ同好会」の名義でOB会に寄付していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。ゴルフに集まる勢いでOB会総会にもこの流れが拡大することを期待いたします。

グループ	氏名・回生	氏名・回生	氏名・回生	氏名・回生
東 ↓ 南	1組 嵐 繁雄 6	高橋貞徳 6	小野真人 10	中野 修 28
	2組 根本隆男 7	大川原正雄 7	吉田松一 9	平子恵敏 9
	3組 佐藤利次 7	木幡晴吉 7	平口文男 7	
	4組 長久保徳幸 14	浜谷 均 14	栗城正一 14	
	5組 金坂昭治 21	秋山徹也 21	志賀幸夫 21	
南 ↓ 西	1組 大竹正美 10	村谷 徹 10	渡辺 久 11	
	2組 和田啓市 11	永山健次 11	大平 均 11	大井川久 11
	3組 高木英淑 13	加瀬達志 13	金澤保則 16	
	4組 蛭田勝夫 15	川村孝一 15	小野 賢 15	
西 ↓ 東	1組 渡辺法広 18	平出祥睦 18	永山 丈 18	渡邊善智 18
	2組 緑川 章 18	小沼雄一 18	日下吉男 26	
	3組 鈴木 忍 18	本多 誠 18	遠藤 誠 18	田中英正 18
	4組 佐竹信安 22	芳賀 忍 30	胡口 司行 33	加藤伸一 35



ゴルフコンペ事務局になった18回生10名 ↑

\*\*\*\*\*No.5新年会\*\*\*\*\*

新年会		平成29年2月4日(土) 17:00~19:30 ホテルミドリ(植田)			
富樫 要次様	小林 仁 5	嵐 繁雄 1	福富大祐 7		
志賀利光 7	千葉良司 10	渡辺 久 11	高原典宏 14		
鈴木 忍 18	四家康正 21	鈴木正美 21			

2月初旬にしては穏やかに晴れた2月4日、土曜日夕方、植田町にあるミドリホテルでOB会員10名と富樫先生が参加し、ホテルの和室の宴会場で新年会が開催されました。新年会であり幹事会でもあるため、高原事務局長により会が進行されました。福富会長が「昨日は節分、今日は立春で温かくなる日がまじかです。今年の総会は、役員改選の時期であり刷新できることを期待したいです。昨年は2回目の親睦ゴルフコンペがあり、1回目より多い参加者がありましたので今後も継続できることを期待します。」と挨拶をしました。次に事務局長から今年のOB会の行事を作成して来たレジュメを元に説明して協力を呼びかけました。私(千葉)からも「昨年のゴルフコンペについて2年分の参加者の資料を作成してきました。2年間でOB会員63名が参加しています。総会にもこの流れが来ると事期待します。またゴルフコンペで集まったお金の一部がOB会に寄付されました。」と報告をしました。そして乾杯は、「先日嵐君からお誘いがあり嬉しく思っています。ぜひ参加したいという思いで新年会に参りました。乾杯」と富樫先生の音頭で新年会が始まりました。富樫先生は、2月9日で86歳を迎えるようです。元気な身体で参加している生活を聞きました。朝5時に散歩する習慣がある。毎日近所にある専門の豆腐屋で豆腐を買う。晩酌の時にその豆腐を3分の2丁、冷奴で食べる。3分の1は奥さんが食べる。晩酌は缶ビール1本と日本酒1合ということでした。豆腐は身体にいいことを認識し直しました。会費6千円。アルコールは2時間飲み放題。鍋料理の他に、刺身や焼き魚といった日本料理が盛沢山、次々に運ばれてきました。集まった11人はそれぞれの席で隣通しと酒を酌み交わし、近況などを伝えあっていました。宴も盛り上がり酒も料理もいっぱい頂いて2時間になるところで、渡辺久さんが来賓で参加した富樫先生へメッセージを送りました。以下はその内容です。[昨日は、「鬼は外」という掛け声があちこちで飛び交いまして鬼は辛い思いをしましたが、今日はその鬼が許してもらえる日であります。今日は、我々に付き合っていていただいてありがとうございます。先生は節々痛いところがあるでしょうが、我々もそのような症状が出てくる年代になってきました。1日でも1年でも先生と長く付き合いたいと思います。健康を心掛けて朝5時から散歩をしているとお聞きしましたが、もう少し時間を遅らせて温かくなってから散歩をして、健康に留意しながら生活していただきたいと思います。先生と我々の年の差は縮まることはありません。我々の頑張る姿、地域に貢献する姿を見ていただき、いつまでも我々を見守っていただきたいと思ひます。富樫先生は渡辺久さんのメッセージにお礼を言い「今日は最高に幸せな日だ」と言っていました。店の従業員に11人の集合写真を撮影していただきました。最後は高原事務局長の音頭で1本締めを行い、新年会はお開きとなりました。



\*\*\*\*\*No.6審査会\*\*\*\*\*

設計コンペ 審査会		平成29年2月11日(土) 10:00~13:00 ノア・アーキテツ(会長事務所)			
福富大祐 7	千葉良司 10	高原典宏 14	四家康正 21		
橋本幸喜 25	浦木祐作 33				



2月11日土曜日午前10時にOB会会長である福富(7回生)さんの事務所に審査委員6名が集合しました。前日高原(14回生)さんが学校へ行き卒業設計の作品33名分を預かり、それを持参してきました。早速33名分を拝見して受賞できるものを選択していきましました。最終的に最優秀賞など10点を振り分けることとなります。受賞に相応しいもの14人が最初に選ばれました。それから10名を残す作業をして残念ながら4名は落選ということになりました。落選した4名についても、つらい選択となりました。残った10名から4種類の賞を決めていきましました。そして最優秀賞1名、優秀賞3名、佳作3名、特別賞3名が決まりました。それぞれに決まった賞に付いて委員6名で講評を致しました。全体的に昨年と同じように完成度の高い作品が多かったようです。昨年の入選者は10名中7名が女子でしたが、今年は10名中8名が男性でした。最優秀賞に決定した岩崎雄一郎さんの作品について、審査委員全員が認める好感度の高い作品となりました。東西に長い長方形の平面計画に南北に2か所空間を設け、屋根はフラットですが部分的に高さに変化を設けています。立面はすっきりしていて開口部は大きなガラスをふんだんに取り入れ内部は常に明るい環境を醸し出しているようです。断面図の表現は3次元に描かれており分かりやすい図面に仕上がっています。模型も詳細な部分まで完成させていました。これだけの発想と制作には一生懸命コツコツと行って半年間かかったことを思わせる作品でした。この作品が現実的に建設されても問題ない仕上がりになっています。今回のテーマは「きっかけとなる建築」です。これは、卒業設計作品を見た人が、自分の家を建築する時に参考になってもらえるようなことを提案したいという主旨のようです。先生方の熱心な指導が全員の作品に反映されたようです。入選者10名の作品を講評して審査会をちょうど12時に終了しました。お昼には福富さんが準備してくれた味噌汁と弁当を6人で頂きながらOB会の事や建築業界の様子や、個人々の健康状態のことについて団欒をしました。審査会は午後1時に解散となりました。皆さんご苦労様でした。福富さんお弁当ご馳走様でした。

\*\*\*\*\*No.7表彰式、入会式、昼食会\*\*\*\*\*

表彰式 入会式		平成29年2月28日(火) 12:00~13:30 勿来工業高校会議室			
福富大祐 7	千葉良司 10	高原典宏 14	四家康正 21		
橋本幸喜 25	浦木祐作 33				



3月1日は、高校の卒業式です。OB会は卒業式の前日に卒業する建築科の生徒たちと交流を持つことになっています。2月28日に学校へ行ってきました。OB会から6人が出席して、卒業設計作品の表彰式を行って来ました。2月11日に設計作品を6人で審査して、最優秀賞から特別賞まで10名を選びました。入選者には、表彰状と設計コンペ作品の冊子を贈呈し、入選者以外の生徒にもこの冊子を配布し、校長、教頭先生をはじめ、建築科の先生にも配布しました。OB会会長の挨拶があり、

表彰式が終わると、入選10作品の感想を高原さんが行いました。その後は、OB会の入会式と言うことで、私から生徒たちにOB会の活動内容などを伝えました。そしてOB会員3名から卒業生へ送る言葉を発表してもらいました。表彰式、入会式、送る言葉を終えると、OB会で準備した、生徒33名、先生6名、OB6名分の弁当とお茶を配り、食事をしながら生徒たちと交流の場を持ちました。

福富OB会会長挨拶

私は建築科OB会会長に8年ほど携わっています。年齢は65歳。今から47年前に皆さんと同じ建築科を卒業しました。30歳の時に独立して設計事務所を立ち上げました。30数年設計の仕事をやってきました。何もわからずこの学校へ入学して、線を描いて建物をイメージして図面を作り上げることを学びました。そのおかげで設計と言う仕事を一生の仕事として今までやってきました。もう少しで設計の仕事が終わろうとしています。今回皆さんの作品を見させていただきました。1点1点すべてを審査員全員で見ました。今年は「きっかけとなる建築」がテーマのようでしたが、いいテーマだったと思います。皆さんがどういう気持ちで取り組んだかと言うことが、非常に素直に表現されているように感じました。震災を経験して、自分はこんな建物を考えたいんだという強い意志が現れているように感じました。私たちのプロの立場から見ても、実際に採用しても問題ないという、いい作品がありました。非常に見ごたえのある学年だったなという印象を持っています。明日は卒業式ですね。進学就職と皆さんそれぞれの道を進んでいくわけですが、一言皆さんに伝えたいことがあります。設計とか建築ということで学んだことは、物を修練して行って、表現するという人生にとって大事な部分を経験しています。自分の気持ちが伝わらなければ、物を作ることはできない。そういう大事なことを体験して、非常にビュアな部分を持っている。その部分は一生を通して財産になるかと思ひます。ここでの3年間の友達の繋がりと、自分の個性を失わないで将来へ向かって頑張ってください。明日の卒業おめでとうございます。また、建築科OB会の入会を歓迎いたします。本日はありがとうございました。

21回生 四家康正さん 贈る言葉

33年前に卒業して、地元の建設会社に勤務しました。皆さんこれから進学、就職と進路は様々ですが、就職についてお話を致します。一つ目は、「大きな声で挨拶をしましょう」。朝は「おはようございます」。帰りは「お先に失礼します」。これは、当たり前のことですが、できない新入生がいます。挨拶はしているようだけど、声が小さくて言っていることが何なのか分からない。大きな声を出して挨拶をすると、元気な新人だなと言ういい印象を与えられます。間違っても「アザアス」などと言うと、先輩にそんな挨拶10年早い」と指導されます。二つ目は、「メモを取りましょう」。仕事に教科書はありません。言われたことや、打ち合わせに行きって聞いたことをメモに取って文字として残すということを習慣にしましょう。自分が理解できないところや、納得できないところは聞き直しましょう。それをしたうえで、実行しても間違えてしまうことはあります。しかし間違えを許してもらえるのは2回までです。3回目の間違えは自分に責任がかかってきます。三つ目は、「ほうれんそうを実施しましょう」ということです。「ほう」は報告、「れん」は連絡、「そう」は相談です。お客さんや、上司などと常にコミュニケーションを取っておくことが大事なことです。話しやすい環境が整っていれば、失敗や相手に迷惑をかけるとか、大きな損害を生じさせてしまうと言うことを防ぐことができます。4月になると皆さんはそれぞれの進路へ進んでまいります。皆さんを歓迎して待っていると思ひますので、今言ったことを頭の片隅に入れながら入学式や入社式へ望んでいただきたいと思います。